

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや
ちくさ

題字 黒野貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 黒野貞夫
幹事 山本眞輔
会報委員長 秋山茂則

No. 30

行動に信念を 信念は行動に

BELIEVE IN WHAT YOU DO

DO WHAT YOU BELIEVE IN

1993~94年度 RI会長 ロバート・R・バース

第560回例会 平成6年2月21日(月)雨／曇 5RC合同例会(東・和合・名東・昭和・千種)

◇“奉仕の理想”

◇東RC梅村会長代行挨拶

5クラブのロータリアンの皆さん、こんにちは。親クラブの会長として御挨拶できることを誠に嬉しく、また、光栄に存じております。ホスト役の昭和クラブの皆さんには、厚く御礼申し上げます。

新聞紙上を賑わしていました旧ユーゴスラビアの空爆は回避されましたが、問題は解決されておられませんので、誠に不安に思っている次第です。

オリンピックもいよいよ後半戦に突入しました。ノルウェーのスピードスケーターのコス選手は、世界新三冠。自己の持つ世界記録を13秒も縮めるといふ驚異的な記録。圧倒的な力を見せつけております。彼はオリンピックでの報酬を全額ボスニア・ヘルツェゴビナに寄付。また、寄付を呼びかけ、国民から続々寄付が集まっているということです。

「オリンピックは、参加することに意義がある」と、かつてケーベルタン男爵が言っております。よく、“Sportsmanship is Gentlemanship. Sportsmanship is Ladyship.”と言われますが、スポーツマンシップの要素は、①ルールを守る、②ベストを尽す、③チームワークを作る、④相手に敬意を持つ、とあります。これを体得すれば、個人としても、社会人としても、国民としても、世界人類の一人としても望ましいこととなります。このことから、“Sportsmanship is Rotaryanship.”とも言えるのではないのでしょうか。

只今、ハチャ先生のお話でしたが、私がハチャ先生を最初に伺ったのは学生時代ですので、今から約30年前です。その頃、スポーツ界は打倒関東打倒関西ということで、先生に「梅村君、頑張れ」とよく言われました。

チャレンジ精神のある大らかな方です。この度、新年度から重責ということですが、どうか、健康にくれぐれも注意して戴きたいと存じます。

本日は大先輩、または普段ではお目にかかれぬ人々にお会いすることができまして、本当に嬉しく思っております。来年度は東ロータリーがホストクラブです。どうか、宜しくお願いいたします。

◇和合RC柏木会長挨拶

皆さん、こんにちは。

本日は年1回の5RCの合同例会です。申すまでもなく、私たち5つのRCは東クラブを中心として、親として誕生した親子兄弟のRCです。夫婦はケンカして別れるとアカの他人となりますが、親子兄弟はケンカをしようが何があろうが親子兄弟です。よろしく仲よくお願いします。

さっそくですが、次年度和合RCよりガバナーを送り出すことになりました。皆様もよくご存じの蜂谷先生がガバナーとして活躍されます。蜂谷先生は、一見、怖そうな顔をしておりますが、ロマンチストで少年のような純粋な性格の方で、又、大変心が広く器の大きな方です。そして、人一倍正義感が強く曲がったことは一切受けつけない厳しさをも持ち合せています。ですから、当クラブでは大変尊敬されている方ですので、皆様方におかれましても、よろしく御支援、御協力のほどお願い致します。

当クラブでは、昨年の9月よりガバナー・スタッフのメンバーも決まり、いろいろ準備に入っております。

メインである地区大会では、記念講演の講師として、昨年50才で将棋の名人位を取られた、あの米長名人に決定しております。

米長名人は私から申し上げるまでもなく、大変魅力的な、人間的にも興行の深い方で、著書には「運を育てる」とか「人生一手の違い」が、それぞれがベストセラーにもなった、総ての点でズバ抜けた才能の方です。

この講演一つだけでも、地区大会に出席する意義は充分にあると私は確信しています。

皆様、次年度は私たち身内から出たガバナーです。よろしくお願い致しまして、私の挨拶とさせていただきます。

◇名東 RC 柴田会長挨拶

本日は昭和ロータリーさんのホストにより、栄ある合同例会を催して頂きまして有難うございます。お骨折りに対し、心より厚くお礼申し上げます。

さて、春もここまで来ていますが、この季節は、秋に次いで美術品の鑑賞には大変よい季節で御座いますので、東京上野の西洋美術館で展示されていますアメリカの、幻のコレクションと言われる、バーンズのお話をさせていただきます。

セザンヌ、スーラ、マティス、ルノワール、ピカソの作品が主で、並外れの質の高い事、量の多い事、文字通り質量共、世界最高のコレクションといわれ、他に類がなく、今後もこれだけの作品を集める事は勿論の事、見る事すら不可能とされています。

特に、自ら決断し、歴史の道標となるような名作が数多く、明るくきれいな作品が多いのも特徴です。

幻のコレクションと言われる理由ですが、バーンズはフィラデルフィア近郊のケンジントンに生まれ、父親は肉屋でしたが、母親が絵や音楽の勉強を勧め、奨学金でベルシルベニア大学で医学を学び、医師としてベルリン大学で研究活動し、家庭常備薬の目薬を開発し特許による莫大な富を得た訳ですが、1951年に自動車事故で79才の生涯を閉じました。

バーンズは向こう気が強く、毒舌家でもあった為、何かと物議をかもし、美術館や評論家、一般市民からも非難を浴びたため、美術品の公開は一切致しませんでした。

財団設立後はやむなく公開致しましたものの、一週間の内、二日半の公開で、しかも限られた人の方に鑑賞を許し、その数は年間僅か三百人程度でした。

死後も遺言により、売却、貸出し、複製は固く禁止され、壁掛けの位置の変更も許されませんでした。

死後40年経ってギャラリーの老朽化の補修資金捻出も含め最初で最後の公開となりました。ワシントン、パリと公開され東京が最後です。どうぞ会員の皆さん東京へのお次いでに御覧になります事をお勧めいたします。4月3日まで御座います。

◇昭和 RC 伊藤会長挨拶

皆さん今日は。本日の5ロータリークラブの合同例会にホスト役を勤めさせていただきます昭和ロータリークラブの伊藤でございます。

ご存知のように私どものクラブ、創立から未だ日が浅いにもかかわらずこれまでになれましたのも、私どもの親クラブ、先輩クラブの皆さん方のお蔭と感謝いたしております。そして本日の会も何かと不行届きの点があるかと存じますがどうぞご容赦の程お願い申し上げます。

さて私、本日折角お集まりの皆さんに気持ちだけでなく何かお役に立つ話でもと色々迷ったのですが、私が脳卒中、突然死および老年期の痴呆といった厚生省の研究班に携っております関係から、本日は先々週の大雪の日を挟みる日間行われました長寿科学の研究の中の老年者の痴呆について、昨年度の調査報告をもとに日本での現状と痴呆になり易い原因といった事の概要をお伝えする事にいたします。皆さんもご承知の通り現在日本では世界に類をみない高齢者社会が進みつつあります。日本人の世界一の長寿そのものは大変結構ですが、反面高齢者の増加は老年期の痴呆患者さんの増加にもつながります。今日65歳以上の人の全人口に占める比率は13.6%といわれますが、在宅しておられる方に限っていてもその4乃至5%の方に痴呆があり、80歳以上では20%を超えております。それでは入院・入所している方で痴呆の割合はというと、国立下総療養所の大塚俊男所長の調査では、一般病院で8.9%、老人病院で38.7%、特別養護老人ホームで56.7%、養護老人ホームで20%とっておられます。痴呆には現在でも原因が解明されていないアルツハイマー型老年痴呆と脳卒中が原因となる脳血管性痴呆が主にあり、日本は好運な事に欧米と違ってその比率が前者が2、3割、後者が5、6割といわれています。

それではどんな人が痴呆になり易いかですが、これには北海道大学の近藤喜代太郎教授が結果を出しておられます。即ち、この2つの痴呆疾患に共通した危険要因として精神活動、社会活動が不活発な人、散歩を含む運動を余りしない人、パートナーが必要なレジャーを好まない人、頭のけがと低学歴であり、そのほかアルツハイマーでは歯が半分以上ない人、脳血管性では脳卒中発作、高血圧、糖尿病、習慣性便秘と40、50歳代の運動不足を挙げておられます。勿論ロータリアンの皆さん方は奉仕を通じての精神・社会活動に心掛けておられますので両タイプの最大の危険要因はまったくないといってもよいでしょう。

それではこれを以て私の挨拶に代えさせていただきます。本日はどうもありがとうございます。

◇千種 RC 黒野会長挨拶

昨年は名古屋昭和ロータリークラブさんに加わっていただき、はじめての5 RC 合同例会がにぎやかに開催され、新風を吹き込んでいただきました。そして、今回はホスト役をつとめていただいで、なごやかな例会となることでしょうか。相互の交流と懇親が一層深められることを祈り、昭和ロータリークラブの伊藤会長さんはじめ会員皆さんに敬意を表すものであります。1994～95年度名古屋第2分区I.Mは、わが千種クラブがホストを務めさせていただくことになっています。本日はここにご出席下さいました皆さんには是非ともご出席を頂けますようお願い申し上げます。次第です。

◇次期ホストクラブ東 RC 梅村会長代行挨拶

懇 親 会

◇乾杯 東 RC 伊藤寛元分区代理

今年会場が東急ホテル。又、ホストの昭和 RC さんが知恵をしぼってくださり、各テーブルは各クラブ2名ずつの座席指定。これを機会に他クラブの方と一層親睦が深められたのではないのでしょうか。

◇出席報告

会 員	67名	出 席	50名
出席率	74.63%		
前 回	2月15日(修正出席率)	98.51%	

◇ビジター数紹介 51名(2/22)

◇ニコボックス

昭和 RC 会長 伊藤 栄一君
幹事 乃一 稔君

本日ホストを務めさせていただきます。よろしくお願ひします。

和合 RC 石田 秀翠君 黒野会長より私の書の展覧会の出品作「百花百色」について5 RC 合同例会にてお話ししました。大変光栄に存じます。ありがとうございました。

(2/15分)

秋山 茂則君、松島 孝彰君、田部井良和君 早退します。

浅井 誠寿君 荻江唄ひ初め無事終わりました。

小坂井盛雄君 本年2月18日に満69才となります。呼ばり70才で古稀を迎える事となりました。健康でいられることを感謝して。誕生日祝ひ。

黒須 一夫君 やつと孫(弘志郎)が生まれました。

柵木 充明君 せがれの中学入試合格で。

水野 民也君 (その一) 或る処である会に出たよろこび。(その二) 孫が大学と中学に2人交換学生でカナダへそれぞれ行きます。

長門 保明君 昨年4月の右肘骨折の後始末の手術が無事終了しました。左利きの方くれぐれもご用心の程。看護婦の皆さんのサービスには頭が下りました。

成田 良治君 山本幹事、日展の作品を見ました。すばらしい出来でお目どう。

杉山 貞男君 ニコニコデー

竹内 眞三君 2/1私の老母「幸」が91才で天寿を全ういたしました。当クラブの皆様にも色々と可愛がって頂いた事を厚く御礼申し上げます。本日クラブより香典を頂戴いただきましたが、個人の遺志としてこれをニコボックスに納めさせていただきます。

和田 正敏君 私共のスタッフ、看護婦の木下、橋本がお世話になります。

渡辺 辰夫君 目の治療の為、ホームクラブ失礼しました。一昨日退院。視力もほぼ回復。近代医学の進歩に只々感謝あるのみです。残念なことは手術の為にマユゲをそられてしまったことです。

足立 一成君、堀江 宏輝君 誕生日祝ひ。

大谷 和雄君 夫人誕生日祝ひ。

ロータリーミニ情報

「クラブ・フォーラム」(クラブ討論会)

役員・理事、各委員長だけでなく、全会員を対象として、適宜リーダーを選び、四大奉仕部門の中から問題点を抽出し、より良い奉仕活動の実践を目指して、話し合いをしたり討議したりする公式会合です。決定や結論を必要としません。

私の健康法・回春法



笹野 義春(56才)

30年間毎朝三合の水を飲み、3回ごろごろころがる。酒は飲まない。よく眠る。(6～7時間) 節食してやせた。快食・快眠で快(回)春。

◇お知らせ

—— 例会欠席者の書類送付について ——

3月より例会欠席者の書類は、ウィークリーの場合、次回例会に、又3回連続欠席の場合はまとめてお送りする事に決定致しました。

◇例会変更のお知らせ

名古屋和合 RC 3/9(水)創立22周年記念例会の為、18時より

名古屋南 RC 3/9(水)春の家族会の為、3/13(日)伊勢神宮にて。

◇次回例会(3月1日)

友愛の日(立食)

◇次々回例会(3月8日)

講演“食について”

会員 河村 政孝君

お手紙紹介

私は現在、イギリスのロンドン大学ゴールドスミス・カレッジで、テレビドキュメンタリーの勉強をさせていただいている。留学して3カ月。ロンドンへ派遣していただいて本当によかったと、心から感謝している。イギリスといえば「不況と失業」のイメージがどうしても浮かんでしまうが、実際に生活してみると、そうした社会背景を背負いつつも、ユーモアのセンスや、常にゆとりを忘れない生活ぶりは、気持ちの上での余裕を感じさせる。勉強そのものだけでなく、イギリスという国の歴史や文化に触れたり、多くの人々と出会う機会に恵まれていることはもちろんである。

※ホストクラブと奨学生としての活動

ロンドンでは、ホストクラブとして、ルイシャムクラブにお世話をいただいている。カウンセラーは、ルイシャムクラブのケン・ネイバー氏。ネイバー氏には、入学当初からアコモデーションのことなどで、いろいろとアドバイスをいただいたり、ご自宅に夕食を招いていただいたりと親切にいただいている。

一方、9月には、イギリスへ留学中のロータリー奨学生全員が集まっての「リンク」の催し、10月には、ロータリーのロンドン地区大会にも参加し、ロータリー奨学生との交流はもちろんのこと、様々なクラブの方々とお話することができた。また、これまで2度ほど他のクラブの会合に呼ばれ、自己紹介や日本についてスピーチを行った。

みなさんが関心を持って聞いてくださるので、話し易いのだが、自分が考えていた以上に日本のことが知られていないのには、正直いって驚いた。概して対日感情は悪くないようだが、いまだに浮世絵的なイメージ、もしくは「ハイテク日本」の両極端なイメージしかなく、中間がない。日本製品は身近でも、日本という国はまだ遠いのか…と考えさせられずにはいられない。ふつうの日本人が何を考え、どんな生活を送っているのか、ごくふつうの日本をすこしでも知ってもらえるように努力したいと思う。

※学校生活

私が現在通っているロンドン大学ゴールドスミス・カレッジのMA IN TELEVISION (Documentary) は、昨年度、この分野で「欧州一」との評価を得たということだが、それだけあって、学生達はもちろん教授陣も非常に熱心で、授業にも活気がある。授業そのも

のは大変実践的で、リサーチからカメラ、照明、脚本、編集など、テレビドキュメンタリーの制作に必要なテクニックを学ぶ。私達の担当チューターは、イギリスBBCやチャンネル4などで番組ディレクターを務めているアンディー・ポーター氏で、彼がこれまでに現場で得たものを実践を通して学ぶ。クラスは、様々な国からの留学生を含む13人から成っており、新聞や広告など違う分野から来た人もいるが、それぞれに目標を持ち、意欲的である。

この2カ月ですでに3本の短い番組を制作した。私は既に日本で4年間、テレビの現場で、ニュースや番組作りに携わってきたが、ここでは学生ならではの冒険もできるし、これまでとは違った視点から番組作りに取り組めるので、大変おもしろい。また、イギリスでは、ほぼ毎日、各局がゴールデン・タイムに争うようにドキュメンタリー番組を放送しており、これらを見ることも大変勉強になっている。

秋学期は、新しい生活に慣れるので精一杯だったが、来学期はコースワーク以外にもいろいろとチャレンジしたいと思っている。

※奨学金について

ゴールドスミス・カレッジの留学生向けの授業料は英国人の3倍ちかく。私の学科の留学生向け授業料は7500ポンドあまりにもなり、奨学金のほとんどが授業料に消えてしまっている状況だ。テレビ番組の制作というコースの特徴から、カメラや編集機の使用のための費用がいるのは仕方がないと思うが、残った額の4000ポンド(1カ月あたりで換算すると月4万円ちょっと)で教材を買い、ロンドンで自炊していくのはかなり厳しいものがある。(大学の寮に入れなかったため、現在友人とフラットをシェアしており、ほとんどが家賃に消える)せめて教材費だけでもいただけると大変助かるのですが…。

※今後について

これまでの各ロータリークラブでのスピーチでは、スライドの用意が間に合わなかったため、話だけになってしまった。次回からはスライドが使用できる予定なので、もっとスピーチに興味を持っていただければ、と思う。できるだけたくさんのクラブを訪ねられるよう努力したいと考えている。

また、ロンドン以外の所へも、時間を見つけてできるだけ訪ねて行きたいと思う。